

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 125 2月号

2016年2月1日 発行
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469
新宮図書館 TEL(0791)75-3332
揖保川図書館 TEL(0791)72-7666
御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.116

「図書館は私の心の故郷」

新宮町 井口 勝夫

私と図書館との出会いは、小学校2、3年の頃である。当時住んでいた台湾高雄の^{ことぶきやま}寿山の麓にあった図書館に通い、そこで『冒険ダン吉』や『のらくろ』、『家なき子』、『曾我兄弟』などの絵本を読んで楽しかった記憶がある。難しい字が読めるようになるとともに『子供の四季』や『路傍の石』等を手にするようになった。

寿山は今は公園になっていて、旅行会社のツアーの観光ルートになっており、その名を目にすると、いつも往時の事が思い出される。山にへばりついた建物であったので、ガラス窓の間際までリスがチチチと鳴きながら木に登ったり、下りたりしていたのが懐かしく思い返される。

内地に帰ってからは、山崎町の図書館にあった『明治大正文学全集』や『ああ無情』、『水滸伝』など色々な本を開いて読んだ。自分は言語障害のためもあって子どもの時から人と言葉を交わし合う事がなかったので、自然に本の世界に入ってしまったように思う。

新宮町に図書館が建つまでは、仕事帰りに姫路の図書館へよく寄っていた。だから町内に図書館ができた時は本当に嬉しかった。昔、ラジオで放送された日曜名作座や私の本棚で放送されていた名作を読みたいと、司書の方をお願いして他市の図書館よりそれを取り寄せてもらったこともあった。また先日は、私が幼いころ、母がお手玉をしながら口ずさんでいた唄「^{たじまもり}田道間守」の歌詞をネットで調べて、それを紙に書いてくださったのを嬉しく読んだ。その時の母の姿を偲びながら。

詩人 福士幸次郎さんは「いつの日か世を去る時、ありがとうと言いましょ。」と述べておられたが、私も図書館に「ありがとう」を言わせてもらいたい気持ちです。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

井口勝夫さん作の干支のちりめん細工

『となりの野生動物』 高槻 成紀 著 ベレ出版



全国の山村には、イノシシの駆除を求める江戸時代の嘆願書が無数に残されている。だが、駆除が行われても、多くの場合焼け石に水であったという。業を煮やした農民は、田畑を土塁や石垣で囲った。これを「イノ垣」や「シシ垣」といい、集落全体を囲んだものや、山を越える長いものもあった。

イノシシは実に頭がよく、状況把握能力に優れ、臨機応変に行動を変えることができる。あるメスイノシシは子連れで農地に近づき、子どもを先に行かせて安全を確認した上で侵入したという。運動能力にも優れ、高さ1.1メートルの障害物を飛び越え、鼻で60キロの物を持ち上げることができる。

通常大型の動物は、食物が大量に必要なため、行動範囲が広がる。クマやカモシカが奥山にいるのはこのためである。一方、里山では農民

が自衛のために、動物を捕まえたりする機会が多く、繁殖力が低い動物は棲みづらい。しかし、イノシシは、栄養価の高い食物を好んで食べる性質から、高栄養の農作物を求め里山に棲もうとする。しかも他の有蹄類や大型肉食獣とは異なり多産のため、駆除してもなかなか減らない。こうして、イノシシは里山にいる例外的に大きい動物として、古来日本の農民を悩ませ続けてきた。

本書ではイノシシの他にも、タヌキやシカなど、身近な野生動物が紹介されている。昨今の野生動物の問題に関して著者は、「豊かな社会故の野生動物への無関心」と「テレビ経由の観念的な自然保護思想」の二極化を危惧し、野生動物それぞれの生活があることを知り、動物たちの存在を尊重する気持ちを持つべきだと訴える。我々の「隣人」でもある野生動物を知るための足がかりとしてほしい1冊。

(御津図書館 西田)

※申込、問い合わせは各図書館まで

イベントの
お知らせ

町ちゅう美術館関連事業

世界に限定33部の貴重本『Michelangelo La Doffa Mano』公開

【日時】2月6日(土)・7日(日) 午前11時～午後3時 【場所】龍野図書館2階展示室

美術協作品展

【日時】2月2日(火)～7日(日) 午前10時～午後6時 7日のみ午後4時まで

【場所】龍野図書館2階研修室

華道～バレンタインのお花を生けよう!

お花の生け方を教えてもらって、バレンタインのかわいいお花を生けてみよう!

【日時】2月13日(土) 午後2時～3時30分

【場所】新宮図書館 研修室

【対象】5歳以上のお子さんと保護者

【定員】16組(要申込・先着順)

【参加費】500円 【持ち物】色マジック・タオル

【申込】新宮図書館(電話可)

SPレコードコンサート 珠玉の名曲をあなたに

希代の銘機である“クレデンザ”と“HMV194”によるSPレコードコンサートをおこないます。

【選曲とお話】福島 繁博氏

【日時】2月14日(日) 午後1時30分～3時30分

【場所】新宮図書館 研修室

【対象】大人(中学生以上)

【定員】50名(要申込・先着順)

【申込】新宮図書館(電話可)



たつの市制10周年記念事業

御津図書館読書講演会

作家・中居真麻氏講演「表現という橋を渡ること」

姫路・たつのを中心とした播磨で活動され、御津を舞台にした小説も発表されている作家、中居真麻氏に小説にまつわる素敵なお話を伺います。

【日時】3月13日(日) 午後2時～3時30分

【場所】御津図書館 【対象】一般

【定員】50名(要申込・先着順)

【申込】御津図書館(電話可) ※2月20日(土) 受付開始

「アキイサムの世界」原画展・講演会

絵本『たこなんかじゃないよ』の原画を鑑賞しよう! 秋野 亥左牟氏の奥様で絵本作家である秋野和子氏にお話を伺います。お楽しみに!

原画展: 3月2日(水)～15日(火) 揖保川図書館 フロア

講演会: 秋野 和子氏

【日時】3月13日(日) 午後2時～3時

【場所】アクアホール(2階 第3会議室)

【定員】25名(要申込・先着順)

【申込】揖保川図書館(電話可) ※2月5日(金) 受付開始

おすすめする子どもの本・116

『まほうつかいのノナばあさん』

トミー・デ・パオラ ぶん・え ゆあさ ふみえ やく ほるぷ出版

昔、カラブリアという町に、魔法使いのノナばあさんが住んでいました。ある時、家事や畑仕事の手伝いに、アンソニイを雇いました。しかし、スパゲッティをゆでる釜にだけは決して触らないように言い聞かせました。

ある日、ノナばあさんが釜の側で歌うと、あっという間に釜は煮え立ち、スパゲッティでいっぱいになるのをアンソニイは見てしまいました。そして、ノナばあさんが友達に会いに出かけて行くことになると、チャンスとばかりに、釜の側でおまじないの歌を試してみました。すぐに、釜は煮え立ち、スパゲッティがどんどん出てきました。そこで町中の人を呼んで、一人残らずお腹いっぱいさせました。ところが、アンソニイはおまじないを最後まで見ていなかったのので、スパゲッティは町中に溢れ出し、

皆は追いかけてあちこち逃げ回りました。そこへノナばあさんが帰ってきて、釜に3回キスをしますとスパゲッティは止まりました。町の人達は、アンソニイをしぼり首にしようとしませんが、ノナばあさんはそれよりもふさわしいおしおきを言いつけました。

温かみのある絵が、古くからあるイタリアのお話の雰囲気を与え、スパゲッティが町中に溢れ出す展開にははらはらします。また、最後のページでは、おしおきで町中に溢れたスパゲッティをすべて食べたポッコリお腹のアンソニイの姿に笑みがこぼれます。読んでもらうなら4歳くらいから。

(揖保川図書館 竹内)

『ふしぎの国のアリス』 ルイス・キャロル 作 生野 幸吉 訳 福音館書店

川辺に座っていたアリスのすぐそばを、チョッキを着た白ウサギが走っていきました。ポケットから懐中時計を取り出し、「ああ、たいへんだ、たいへんだ。おくれてしまうぞ！」とつぶやくウサギに驚いたアリスは、思わず後を追って大きな穴の中に飛び込みました。

それは地球を突き抜けるほどの深い穴。穴の底には部屋があり、「私をお飲み」と書かれた飲み物が置いてありました。それを飲むとアリスの体は小さくなり、「私をお食べ」とあるお菓子を食べると、今度は天井につっかえるほど大きくなってしまいました。

その後もアリスにおこる出来事は、おかしなことばかりでした。

抱っこしていた赤ちゃんはいつの間にかブタに変わり、森で出会った三月ウサギと

帽子屋と眠りネズミは、終わることのないティー・パーティーを続けています。

また、空中に浮かびあがり消えたりするチェシャ・ネコ、すすり泣きながら身の上話をするニセ海ガメなどが、次々とアリスの前に現れます。

奇妙なことばかりの「ふしぎの国」は、ユーモアとナンセンスの魅力に満ちていて、アリスと共に風変わりな出来事を体験する楽しさを存分に味わえます。

登場人物を見事に表現した秀逸な挿絵は、物語と分かちがたく、深い印象を残します。

小学4年生くらいから。

(御津図書館 岡村)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段)・時間(下段)	2月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	1～3歳児、保護者 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	13日・20日 『おててがでたよ』他
	子どもの本を読む会	一般 ※会場が変更になっています 第1木曜日(10時～11時30分)	4日 『ふたりのロッセ』 エーリヒ・ケストナー 著
	読書会	一般 第2金曜日(10時～11時30分)	12日 『寄り添って老後』 沢村 貞子 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 第2月曜日・第3日曜日 (11時～11時20分)	8日・21日 『おおきなかぶ』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ 毎週土曜日(10時15分～10時45分)	6日・20日・27日 (※13日は行事のためありません) 『はたらきもののじよせつしゃけいていー』他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	13日・20日 『てぶくろ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	13日・20日 「世界でいちばんきれいな声」他
	読書会	一般 第3金曜日(10時～12時)	19日 『スウ姉さん』 エレナ・ポーター 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	1歳～4歳児、保護者 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	14日・21日 『おおきなかぶ』他
		5歳児～ 第2・第3日曜日(11時30分～11時50分)	14日・21日 『あひるのピンのぼうけん』他
	読書会	一般 第3水曜日(13時30分～15時30分)	17日 『かわいい自分には旅をさせよ』 浅田 次郎 著
	古文書を読む会	一般 第2土曜日(13時30分～15時30分)	13日 古文書の解説